

名作文庫通信

2025年冬号

新刊ご案内



『カラマーゾフの兄弟 1』

ドストエフスキイ／著 江川 卓／訳
中公文庫／刊

19世紀ロシア。強欲で好色な父と、個性的な3人の息子たちが、神による救済をめぐって、果てしなき議論を展開し…。世界文学史上の傑作を、ドストエフスキイ作品の謎に迫ったロシア文学者が手掛けた注解版を文庫化。「TRC MARC」より

ちくま日本文学 文庫版

006 寺山修司

寺山修司／著 筑摩書房／刊

誰か故郷を想はざる抄／家出のすすめ抄／私は地理が好きだった／歴史抄／首吊人愉快／青蛾館より／毛皮のマリー／サーカス／スポーツ版裏町人生より／おさらばという名の黒馬／モンタヴァル一家の血の呪いについて／詩／空には本抄／血と麦抄／他



寺山修司(てらやま しゅうじ) 1935-1983

青森県弘前市の生まれ。

十八歳のとき短歌研究新人賞を受賞。第一歌集『空には本』を刊行して脚光をあびる。劇団「天井桟敷」結成。劇作家、演出家として活動、その後映画界にも進出し、数々の賞を受賞。

ラジオ、テレビ、映画、写真、そして競馬やスポーツ評論などさまざまな分野で才気を發揮した。「言葉の鍊金術師」、「アングラ演劇・四天王のひとり」、及び「昭和の啄木」とも称され、不朽の作品を生み出した。

大学時代にネフローゼ症候群で入院、1983(昭和58)年、肝硬変と髄膜炎のため敗血症を併発、47歳という若さでこの世去った。

童心に返る

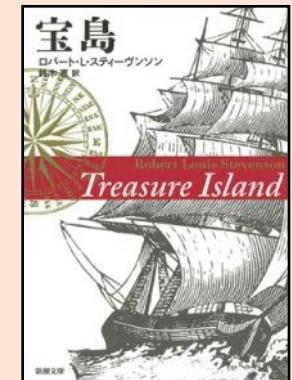
久しぶりに手に取る懐かしいお話。タイトルやあらすじは知っているけれど初めて読むお話。そんな児童文学の名作たちを集めました。

宝島

ロバート・L・スティーヴンソン／著
鈴木 恵／訳 新潮文庫／刊

「宝島」の地図を手に入れた少年ジムは、医者のリヴジー先生や一本足の船乗りシルヴァーらと財宝を探しに出帆した。ところが海賊どもの反乱が勃発。単独行の果て、ジムは宝のありかにたどり着くが…。不朽の冒険物語の新訳。

「TRC MARC」より



秘密の花園

フランシス・ホジソン・バーネット／著
畔柳 和代／訳 新潮文庫／刊

10歳にして両親を亡くし、親戚に引きとられたメアリ。顔色も悪く愛想のない彼女を唯一楽しめたのは、ひっそりと隠された庭園だった。3人の子どもに訪れた、美しい奇蹟を描いた児童文学永遠の名作を新訳。

「TRC MARC」より





季刊「名作文庫通信」

3・6・9・12月発行

杉並区立下井草図書館
杉並区下井草3-26-5
電話:03-3396-7999